



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(IFRS)(連結)

2020年10月29日

上場会社名 株式会社アドバンテスト  
 コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/investors>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員管理本部長

(氏名) 吉田 芳明  
 (氏名) 藤田 敦司  
 配当支払開始予定日

TEL 03-3214-7500  
 2020年12月1日

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	144,102	4.6	30,937	5.9	29,320	11.9	24,491	8.5	24,491	8.5	22,731	0.7
2020年3月期第2四半期	137,751	4.1	32,878	2.6	33,279	5.2	26,772	11.2	26,772	11.2	22,583	35.5

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	123.61	122.97
2020年3月期第2四半期	135.20	134.77

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	361,293	235,497	235,497	65.2
2020年3月期	355,777	231,452	231,452	65.1

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		41.00		41.00	82.00
2021年3月期		38.00			
2021年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	275,000	0.3	52,500	10.6	50,900	13.1	42,500	20.6	42,500	20.6

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(4)今後の見通し」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	199,566,770 株	2020年3月期	199,566,770 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	3,076,297 株	2020年3月期	1,152,069 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	198,130,909 株	2020年3月期2Q	198,012,630 株
------------	---------------	------------	---------------

(注) 期末自己株式数には、業績連動型株式報酬 信託口が保有する当社株式(2021年3月期2Q: 694,832株、2020年3月期: 537,830株)が含まれております。また業績連動型株式報酬 信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 財政状態の概況 .....	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	P. 3
(4) 今後の見通し .....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記 .....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 10
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 10
(セグメント情報) .....	P. 10
2020年度第2四半期決算(連結)の概要 .....	P. 12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年9月30日)の状況 (単位:億円)

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	1,242	1,256	1.1%
売上高	1,378	1,441	4.6%
営業利益	329	309	△5.9%
税引前四半期利益	333	293	△11.9%
四半期利益	268	245	△8.5%

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、深刻な景気後退に直面しました。感染防止と経済活動のバランスに腐心しながら景気回復に向けた取り組みが各国で進められたものの、2020年の世界経済成長率は依然歴史的な落ち込みが予想されています。

半導体試験装置市場においては、リモートワークの普及や巣ごもり消費の拡大を背景に、データセンターやゲーム機器向けのメモリ半導体用およびS o C半導体用の試験装置需要が伸びました。この伸びを当社の幅広い顧客基盤と多彩な製品ポートフォリオにより取りこんだことで、この方面のビジネスは好調に推移しました。一方で、米国が中国スマートフォンメーカーへの規制を強化したことなどを受け、関連する顧客で新規投資に対する様子見姿勢が続きました。また新型コロナウイルス封じ込めのための都市封鎖や人的移動制限により、自動車や産業機器などの領域の需要が弱含みました。

これらの結果、受注高は1,256億円(前年同期比1.1%増)、売上高は1,441億円(同4.6%増)となりました。利益面については、前年同期比で売上総利益率の良い製品群の割合が減少したことで、営業利益は309億円(同5.9%減)となりました。なお当第2四半期連結累計期間の営業利益には、一過性の利益である事業譲渡益約25億円が含まれます。米ドルに対するユーロ高の進行に伴う為替差損の増加などで、税引前四半期利益は293億円(同11.9%減)、四半期利益は245億円(同8.5%減)となりました。当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが107円(前年同期109円)、ユーロが120円(同123円)となりました。海外売上比率は95.5%(前年同期95.8%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## &lt;半導体・部品テストシステム事業部門&gt;

(単位:億円)

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	930	872	△6.2
売上高	1,029	898	△12.7%
セグメント利益	364	248	△31.8%

当部門では、一部スマートフォン関連サプライチェーンからのS o C半導体用試験装置需要が米中摩擦の先鋭化を受け、大きく減少しました。一方でリモートワークの拡大や巣ごもり消費の伸びを背景に、H P C (ハイ・パフォーマンス・コンピューティング)用途のS o C半導体に対する需要が上期を通じて堅調であったほか、スマートフォンの高性能化に連動してイメージ・センサー、ディスプレイ・ドライバーI C、アプリケーション・プロセッサ向けのS o C半導体用試験装置受注が第2四半期に伸びました。メモリ半導体用試験装置は、サーバーやゲーム機器用の高性能メモリ半導体向けを中心に、好調な販売が続きました。

以上により、当部門の受注高は872億円(前年同期比6.2%減)、売上高は898億円(同12.7%減)、セグメント利益は248億円(同31.8%減)となりました。

## &lt;メカトロニクス関連事業部門&gt;

(単位:億円)

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	140	177	26.3%
売上高	160	204	27.5%
セグメント利益	△16	36	—

当部門では、メモリ半導体用試験装置需要が伸長する中、事業関連性の高いデバイス・インタフェース製品の販売が伸びました。またプローブ・カード事業譲渡による譲渡益約25億円が当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に含まれております。

以上により、当部門の受注高は177億円(前年同期比26.3%増)、売上高は204億円(同27.5%増)、セグメント利益は36億円(同52億円改善)となりました。

## &lt;サービス他部門&gt;

(単位:億円)

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	172	211	22.4%
売上高	189	342	81.5%
セグメント利益	21	70	3.3倍

当部門では、データセンター投資の活発化やスマートフォンの高性能化を背景に、2020年1月に買収した米Essai社の製品やS o C用システムレベル・テスト製品などを扱う、システムレベル・テスト事業が全般的に好調に推移しました。

以上により、当部門の受注高は211億円(前年同期比22.4%増)、売上高は342億円(同81.5%増)、セグメント利益は70億円(同3.3倍)となりました。

## (2) 財政状態の概況

当第2四半期末の総資産は、前年度末比55億円増加し、3,613億円となりました。この主な要因は、現金および現金同等物が87億円減少しましたが、主に投資有価証券の増加によりその他の金融資産が66億円、棚卸資産が62億円、のれんおよび無形資産が21億円それぞれ増加したことなどによります。負債合計は、営業債務およびその他の債務が37億円減少しましたが、繰延税金負債が25億円、主に前受金の増加によりその他の流動負債が18億円、退職給付に係る負債が15億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比15億円増加し、1,258億円となりました。また、資本合計は2,355億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比0.1ポイント増加し、65.2%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの概況

当第2四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より87億円減少し、1,190億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益293億円を計上したことに加え、棚卸資産の増加(△63億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、244億円の収入(前年同期は、299億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、98億円の支出(前年同期は、31億円の支出)となりました。これは主に、資本性金融商品の取得(△68億円)と有形固定資産の取得(△58億円)および事業譲渡による収入(33億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、224億円の支出(前年同期は、91億円の支出)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出(△139億円)と配当金の支払(△81億円)によるものであります。

## (4) 今後の見通し

当社業績を牽引する半導体・部品テストシステム事業の先行きを展望しますと、S o C半導体用試験装置については、5 G関連需要を背景に好調だった前年度から一転し、米中対立の先鋭化のもと厳しい環境が継続しています。第1四半期以降、米国の規制対象となった中国スマートフォンメーカーと関連の深いサプライチェーンにおいて試験装置投資への慎重姿勢が続いているため、当年度のS o C半導体用試験装置の売上高は前年度を下回る見通しです。ただしスマートフォンメーカー間の競争の活発化を背景に、イメージ・センサー、ディスプレイ・ドライバー I Cでは想定以上の試験装置需要が顕在化するなど、S o C半導体用顧客の投資意欲には足元で改善もみられます。

メモリ半導体用試験装置については、大手顧客複数社の積極投資がここ数四半期続いたことから下期の売上高については反動減を予想しています。しかしメモリ半導体の高性能化を背景に、顧客各社からの引き合いは堅調な推移を見込んでいます。

これらの市場見通し、および第2四半期連結累計期間の業績進捗を踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想を以下のとおり修正します。受注高は2020年7月時点の2,400億円から2,600億円へ、売上高は2,600億円から2,750億円へ、営業利益は450億円から525億円へ、税引前利益は444億円から509億円へ、当期利益は358億円から425億円へ、それぞれ上方修正します。当連結会計年度下期の業績予想の前提とした為替レートは、米ドルが105円、ユーロが120円と、7月時点の業績予想における前提レートから変更ありません。

当社における新型コロナウイルスの感染拡大の影響については、人的移動制限に伴うオペレーション上の支障はほぼ解消しました。また市況面においては、コロナ禍により市場回復が長期化している自動車や産業機器関連のS o C半導体用試験装置において軟調な需要が続く一方で、リモートワーク拡大などを背景にメモリ半導体向けの試験装置需要は前年同期を上回る水準となる見通しです。これらを総じ、新型コロナウイルスの感染拡大による当社業績への影響は概ねニュートラルであると現時点では認識しています。

しかしながらウイルス感染症の再拡大に伴い世界経済が再度減速する可能性があること、また米中経済摩擦の今後の展開が非常に読み難い状況にあることを踏まえ、当社は外部環境の変化に機動的に対応することを当連結会計年度の最優先事項とし、足元の難局に慎重に対応してまいります。

上述のとおり、足元の半導体試験装置市場は調整局面にあると分析していますが、当社の中長期成長戦略に変更はありません。5 Gを中核としたデジタル・トランスフォーメーションは、高性能かつ高い信頼性を備えた半導体の需要を中長期にわたって拡大させると見込まれます。そしてこの潮流は、より高付加価値な半導体試験ソリューションに対する顧客ニーズの高まりを通じて、当社の事業機会を中長期にわたって拡大すると予想しています。

この長期的な視座に立ち、当社は、半導体のウエハ・レベル試験やパッケージ・レベル試験といった既存事業の強化のみならず、システム/モジュール・レベルでのテスト・ソリューション分野への参入や、半導体のテストデータを半導体プロセス解析などに活用するデータ・アナリティクス分野への展開を進めています。今後ともこれら成長施策の手を緩めず、2027年度を最終年度とする中長期経営方針「グランドデザイン」の目標として掲げた売上高3,000億~4,000億円の達成に向け、全社一丸となり邁進してまいります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	127,703	119,012
営業債権およびその他の債権	46,426	44,379
棚卸資産	58,943	65,122
その他の流動資産	6,871	8,370
(小計)	239,943	236,883
売却目的で保有する資産	199	199
流動資産合計	240,142	237,082
非流動資産		
有形固定資産	35,072	36,769
使用権資産	11,184	10,306
のれんおよび無形資産	51,025	53,075
その他の金融資産	2,867	9,492
繰延税金資産	15,351	14,214
その他の非流動資産	136	355
非流動資産合計	115,635	124,211
資産合計	355,777	361,293
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	46,660	42,948
未払法人所得税	7,793	7,634
引当金	3,335	3,536
リース負債	2,275	2,311
その他の金融負債	1,892	2,045
その他の流動負債	8,582	10,375
流動負債合計	70,537	68,849
非流動負債		
リース負債	9,013	8,138
退職給付に係る負債	40,622	42,089
繰延税金負債	1,563	4,099
その他の非流動負債	2,590	2,621
非流動負債合計	53,788	56,947
負債合計	124,325	125,796
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	43,550	43,913
自己株式	△4,179	△14,554
利益剰余金	159,803	175,620
その他の資本の構成要素	△85	△1,845
親会社の所有者に帰属する持分合計	231,452	235,497
資本合計	231,452	235,497
負債および資本合計	355,777	361,293

## (2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	137,751	144,102
売上原価	△57,380	△64,476
売上総利益	80,371	79,626
販売費および一般管理費	△47,569	△51,253
その他の収益	117	2,646
その他の費用	△41	△82
営業利益	32,878	30,937
金融収益	476	78
金融費用	△75	△1,695
税引前四半期利益	33,279	29,320
法人所得税費用	△6,507	△4,829
四半期利益	26,772	24,491
四半期利益の帰属 親会社の所有者	26,772	24,491
1株当たり四半期利益		
基本的	135.20円	123.61円
希薄化後	134.77円	122.97円

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	71,586	77,377
売上原価	△30,566	△35,704
売上総利益	41,020	41,673
販売費および一般管理費	△23,354	△26,721
その他の収益	74	2,574
その他の費用	△22	△47
営業利益	17,718	17,479
金融収益	650	32
金融費用	△38	△1,086
税引前四半期利益	18,330	16,425
法人所得税費用	△3,642	△2,484
四半期利益	14,688	13,941
四半期利益の帰属 親会社の所有者	14,688	13,941
1株当たり四半期利益		
基本的	74.13円	70.48円
希薄化後	73.84円	70.12円



(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	26,772	24,491
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	△17	△333
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△4,172	△1,427
税引後その他の包括利益	△4,189	△1,760
四半期包括利益	22,583	22,731
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	22,583	22,731

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	14,688	13,941
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	1	△349
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△808	△998
税引後その他の包括利益	△807	△1,347
四半期包括利益	13,881	12,594
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	13,881	12,594

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2019年4月1日 残高	32,363	43,018	△6,262	125,927	3,685	198,731	198,731
四半期利益				26,772		26,772	26,772
その他の包括利益					△4,189	△4,189	△4,189
四半期包括利益	—	—	—	26,772	△4,189	22,583	22,583
自己株式の取得			△1,120			△1,120	△1,120
自己株式の処分		△261	2,664	△1,025		1,378	1,378
配当金				△8,309		△8,309	△8,309
株式に基づく報酬取引		336				336	336
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				111	△111	—	—
所有者との取引額等合計	—	75	1,544	△9,223	△111	△7,715	△7,715
2019年9月30日 残高	32,363	43,093	△4,718	143,476	△615	213,599	213,599

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2020年4月1日 残高	32,363	43,550	△4,179	159,803	△85	231,452	231,452
四半期利益				24,491		24,491	24,491
その他の包括利益					△1,760	△1,760	△1,760
四半期包括利益	—	—	—	24,491	△1,760	22,731	22,731
自己株式の取得		△13	△11,732			△11,745	△11,745
自己株式の処分		△142	1,357	△539		676	676
配当金				△8,135		△8,135	△8,135
株式に基づく報酬取引		518				518	518
所有者との取引額等合計	—	363	△10,375	△8,674	—	△18,686	△18,686
2020年9月30日 残高	32,363	43,913	△14,554	175,620	△1,845	235,497	235,497

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	33,279	29,320
減価償却費および償却費	4,548	5,503
営業債権およびその他の債権の増減額(△は増加)	390	1,748
棚卸資産の増減額(△は増加)	684	△6,326
営業債務およびその他の債務の増減額(△は減少)	△5,437	△3,169
製品保証引当金の増減額(△は減少)	132	200
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	648	695
その他	2,530	1,643
小計	36,774	29,614
利息および配当金の受取額	470	87
利息の支払額	△76	△86
法人所得税の支払額	△7,289	△5,199
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	29,879	24,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の売却による収入	111	—
資本性金融商品の取得による支出	—	△6,817
有形固定資産の取得による支出	△3,054	△5,841
無形資産の取得による支出	△227	△397
事業譲渡による収入	—	3,295
その他	44	10
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△3,126	△9,750
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	1,378	701
自己株式の取得による支出	△1,120	△13,866
配当金の支払額	△8,302	△8,129
リース負債の返済による支出	△1,038	△1,107
その他	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△9,082	△22,401
現金および現金同等物に係る換算差額	△2,821	△956
現金および現金同等物の純増減額(△は減少)	14,850	△8,691
現金および現金同等物の期首残高	119,943	127,703
現金および現金同等物の四半期末残高	134,793	119,012

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	102,916	15,986	18,849	—	137,751
セグメント間の売上高	10	—	1	△11	—
合計	102,926	15,986	18,850	△11	137,751
セグメント利益(調整前営業利益)	36,356	△1,553	2,117	△3,643	33,277
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△399
営業利益	—	—	—	—	32,878
金融収益	—	—	—	—	476
金融費用	—	—	—	—	△75
税引前四半期利益	—	—	—	—	33,279

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	89,499	20,381	34,222	—	144,102
セグメント間の売上高	334	—	—	△334	—
合計	89,833	20,381	34,222	△334	144,102
セグメント利益(調整前営業利益)	24,812	3,647	6,965	△3,884	31,540
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△603
営業利益	—	—	—	—	30,937
金融収益	—	—	—	—	78
金融費用	—	—	—	—	△1,695
税引前四半期利益	—	—	—	—	29,320

前第2四半期連結会計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	52,007	9,341	10,238	—	71,586
セグメント間の売上高	—	—	1	△1	—
合計	52,007	9,341	10,239	△1	71,586
セグメント利益(調整前営業利益)	18,697	△601	1,604	△1,732	17,968
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△250
営業利益	—	—	—	—	17,718
金融収益	—	—	—	—	650
金融費用	—	—	—	—	△38
税引前四半期利益	—	—	—	—	18,330

当第2四半期連結会計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	47,540	11,502	18,335	—	77,377
セグメント間の売上高	2	—	—	△2	—
合計	47,542	11,502	18,335	△2	77,377
セグメント利益(調整前営業利益)	12,998	3,464	3,252	△2,007	17,707
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△228
営業利益	—	—	—	—	17,479
金融収益	—	—	—	—	32
金融費用	—	—	—	—	△1,086
税引前四半期利益	—	—	—	—	16,425

(注) 1. 当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

2. 株式報酬費用は、ストック・オプションおよび業績連動型株式報酬の費用であります。

3. 報告セグメントの利益は、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。

4. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。

5. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

6. 当第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結会計期間におけるメカトロニクス関連事業のセグメント利益には、2020年7月30日にプローブ・カード事業を譲渡したことによる事業譲渡益2,451百万円が含まれています。

## 2020年度第2四半期 決算(連結)の概要

### 1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2019年度 実績	2020年度実績					2020年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	2,878	615	641	4.4%	1,256	1.1%	(2,400) 2,600	9.7%
受注残	910	857	725	15.4%	725	18.3%	(710) 760	16.5%

(注)1. 上段( )の数値は、2020年7月30日発表時の予想であります。

### 2. 損益

(単位:億円)

	2019年度 実績	2020年度実績					2020年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	2,759	667	774	16.0%	1,441	4.6%	(2,600) 2,750	0.3%
売上原価	1,194	287	358	24.1%	645	12.4%	-	-
販売費および一般管理費	978	245	268	8.9%	513	7.7%	-	-
その他の収益・費用	0	0	26	68.3倍	26	33.7倍	-	-
営業利益 (売上高比率)	587 (21.3%)	135 (20.2%)	174 (22.6%)	29.9%	309 (21.5%)	5.9%	(450) 525 (19.1%)	10.6%
金融収益・金融費用	1	6	10	87.2%	16	-	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	586 (21.2%)	129 (19.3%)	164 (21.2%)	27.4%	293 (20.3%)	11.9%	(444) 509 (18.5%)	13.1%
法人所得税費用	51	23	25	5.9%	48	25.8%	-	-
当期利益 (売上高比率)	535 (19.4%)	106 (15.8%)	139 (18.0%)	32.1%	245 (17.0%)	8.5%	(358) 425 (15.5%)	20.6%

(注) 上段( )の数値は、2020年7月30日発表時の予想であります。

### 3. 財政状態

(単位:億円)

	2019年度 実績	2020年度実績		
	4Q末	1Q末	2Q末	1Q比
総資産	3,558	3,591	3,613	0.6%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	2,315	2,342	2,355	0.5%
親会社所有者帰属持分比率	65.1%	65.2%	65.2%	-

### 4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2019年度実績			2020年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	41.00	41.00	82.00	38.00	未定	未定

(注) 現時点では2020年度の期末配当については未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。